



平成30年度 埼玉大学教育学部附属特別支援学校グランドデザイン



有識者会議報告より

- 多忙化解消
- 地域のモデル校
 - ・地域に活用される研究成果
 - ・教育委員会との連携
- 大学・大学院との研究連携
- 教育実習校+現職教員研修の役割
- 大学のミッション
- 第3期中期計画

国

大学

学校教育目標

物事に積極的に取り組み、生きる喜びを味わいながら、充実した社会生活のできる子どもを育成する

目指す子ども像

- 明るく素直で、健康な子
- じっくり考え、進んで行動する子
- 社会の決まりを守り、行動する子
- 自然やいのち、文化を大切にする子



教育学部より（本校の性格）

- 教育実習校
- 教育実践研究校
- 特別支援教育推進校

本校の現状

- 業務の多さ・学校研究の負担感
- 会議時間の長さ、土日勤務
- 教員体制・学校設備

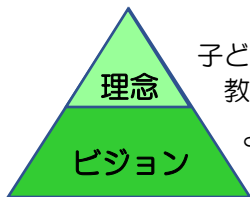
教育方針（目指す学校像）

保護者とともに知的障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指し、生活に即した学習や体験的な学習を通し、一人一人の持てる力を最大限に発現させることによって、社会の主体としてたくましく生活できる子どもを育てる

本校の使命

- 保護者とともに子どもの成長を支える学校
- 授業づくりを大切にする学校
- 地域の特別支援教育を推進する学校
- 埼玉大学学部生・大学院生を育成する学校

本校が目指すもの(ビジョン)



子どもの成長が感じられ、子ども・保護者・教職員が元気になる学校に

よい授業、よい支援で、子どもたちが変わる・地域に貢献する

チームワークで個性が光る

しいの木ハッピーターンプロジェクト

- 本校の使命の明確化
- 長時間勤務の是正
- 業務の精選
- 学校研究の工夫



重点・努力点

自己実現する子どもたちを育成するために

- ・子どもの夢・なりたい自分、将来像を大切にする
- ・子どもの動機づけ、意欲を育む
- ・挑戦体験、成功体験、感動体験を大切にし、自尊感情を育む
- ・心身および行動の調和的発達を支援する

指導支援の充実	将来を見据え、自立と社会参加に向けた指導の充実
教育環境づくり	安全で安心して生活できる環境づくり
授業実践力の向上	実践的指導力の向上を図る工夫
関係機関との連携	家庭・地域・大学との連携の強化
特別支援教育の推進	チームとしての特別支援教育の推進